

【 風薫る 5月 お元気ですか 】



浅川を散歩していたら、大きな木の枝から白い房のようにぎっしり垂れ下った花、おそらく（ニセ）アカシアを目にしました。同時に、独特の香りも辺りに漂っています。1960年代にヒットした「アカシアの雨に打たれて・・・」などという西田サチコの歌などを思い出しました。

また土手を歩きながら、何軒かの家で、鯉のぼりの鯉が風に乗って、浅川の風に吹かれて忙しそうに泳いでいました。しかし少子化の影響もあってか、鯉のぼりを目にすることが年々減っている気がします。

複合施設の中庭では、毎年恒例のひよこハウス豊田の鯉のぼりが、屋上からのロープに勢ぞろいしてぶら下がり、時々、風に乗って元気に泳いでいます。この端午の節句も、歴史的には江戸時代19世紀の初頭に、貴族から武士や庶民に広まった催しのようなのです。

子どもが少なくなっても、当施設では元気なひ孫のような子どもたち、ひよこハウスの園児に会えます。ひよこハウス豊田やひよこハウス多摩平の子どもたちが、5月1日には、ご利用者のおじいちゃんおばあちゃんのところにやってきて、小さな鯉のぼりの鯉づくりをしました。楽しいひとときを過ごし、終わりに利用者の皆さんと握手をしました。これには感極まって涙する方もおられました。これも当施設が誇れる行事です。

子どもたちが少なくなっただけでなく、家族構成も変わり、孫やひ孫さんと一緒に過ごすことも無くなりました。一方、当園児たちは、幸いにも利用者の皆さんとの交流という楽しい時間と貴重な人生勉強を体験できます。

また利用者の皆さんも子どもたちからエネルギーを貰い、元気づけられます。これからも、このような元気になる「ふれあい」を大切にしていきたいと思えます。

すでに夏のような日もありますが、新緑の心地よさを楽しみつつ、今月も、ご利用者の皆さんが、元気にお過ごしいただけるように、職員一同で工夫していきたいです。

ご利用者の皆さん、ご家族の皆さん、今月もよろしく願い申し上げます。

佐々木 榮一